

令和2年度
取組結果

日高地域における林業の活性化に向けた取組

日高北部森林管理署

目 標

日高地域の民有林における搬出(列状)間伐の推進と林地未利用材の有効活用

取組内容

結果

【搬出(列状)間伐の推進】 ～現地検討会への参画～

コロナ禍の中で、当初計画していた国有林野事業見学会の実施が困難となったことから、日高振興局森林室で実施した林業後継者育成事業(林業講座)に参画し、室内研修の中で列状間伐の経済性・効率性について説明を行い、当研修の現地テーマでもあった森林整備推進協定・共同施業団地について説明し共有を図った。

また、民有林のトドマツ人工林(32年生)において、今後の施業(間伐等)について、意見交換を行った。



地域の民有林所有者には、搬出(列状)間伐の経済性・効率性は、林地未利用材の有効利用と合わせ理解が深まっており、普及拡大につながっている。

森林整備推進協定については、一定の情報共有を図ることができ、今後も役場担当者や森林組合への積極的な情報発信や路網整備などの現状把握を進める。

【林地未利用材の有効活用】

国有林における林地未利用材の入札状況や結果等について、森林室平取事務所、沙流川森林組合へ情報提供を行いながら、民有林における現状と課題について意見交換を行った。

また、林業事業者への聞き取りによる木質バイオマス情報については、森林室平取事務所を通じ、森林所有者へ情報提供を行った。

国有林と民有林での林地未利用材の同時搬出などの目に見えた成果を得ることができなかったが、民有林所有者の林地未利用材の有効利用に対する意識の向上が図られた。

今年度の総括
次年度の予定

コロナ禍の中で、当初予定していた国有林野事業見学会などの取組を実施することができなかったが、次年度以降も、搬出(列状)間伐の推進のため見学会等を行いながら、日高振興局森林室平取事務所、沙流川森林組合とも連携・情報共有を図り、地域の民有林所有者や役場担当者と意見交換等を行い、地域としての問題点や課題を共有し、国有林として取組を進める。